

第9章 管理運営・財務

2) 財務

2) 財務

1. 現状の説明

(1) 教育研究を安定して遂行するため、財政計画を適切に策定しているか。

【評価の視点】

- 大学の将来を見据えた計画等や中・長期の管理運営方針に則した中・長期財政計画の策定
- 当該大学の財務関係比率に関する指標又は目標の設定

1) 中・長期的な財務計画は、毎年10月に経理単位毎に「10年間の収支見通し」を策定し、理事会において審議している。今後10年間の収支状況を資金収支・事業活動収支の面から見通すもので、長期的な収支の動向や大きな設備投資計画等を把握することにより、法人の中・長期的な課題や今後の資金繰りなどが検討されている。

(2) 教育研究を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。

【評価の視点】

- 大学の理念・目的及びそれに基づく将来を見据えた計画等を実現するために必要な財務基盤（又は予算配分）
- 教育研究の遂行と財政確保の両立を図るための仕組み
- 外部資金(文部科学省科学研究費補助金、寄附金、受託研究費、共同研究費等)の獲得状況、資産運用等

1) 「10年間の収支見通し」により、各種事業計画や設備投資計画を事前に把握し、必要な財政基盤が構築できているか各部門及び財務部で検証している。また投資後は、その効果を各部門及び財務部で検証し、状況によって事業計画の見直しを図ることで、財務基盤の安定化に繋げている。

2) 医学部附属病院が1,300億円を上回る医療収入を上げており、法人全体として教育・研究を更に発展させていくための強固な財務基盤が確立されている。

3) 各部門が適正な収支管理を行っており、収支状況は非常に安定している。良好な収支により生じたキャッシュフローを原資として、施設設備投資を借入に頼ることなく自己資金で行っており、安定した財務基盤が確立している。

4) 科学研究費助成事業の採択状況を経年比較すると、採択件数は増加傾向にある。採択件数は、私立大学約550校中、2013(平成25)年度は第6位、2014(平成26)・2015(平成27)・2016(平成28)年度は第5位となった。

(資料9-2-1 平成25年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(資料9-2-2 平成26年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(資料9-2-3 平成27年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(資料9-2-4 平成28年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

科学研究費助成事業の採択状況 (千円)

年度	採択件数	直接経費	間接経費	合計
平成25年度	386件	654,700	192,330	847,030
平成26年度	444件	716,550	210,975	927,525
平成27年度	443件	671,950	199,965	871,915
平成28年度	474件	663,900	199,170	863,070

第9章 管理運営・財務 2) 財務

- 5) 民間企業からの外部資金も長期的・安定的な財政基盤を確立するために大切な資金調達方法の一つであり、本学の共同研究費、受託研究費の獲得状況は増加傾向にある。

共同研究・受託研究受入実績

(千円)

年度	共同研究		受託研究	
	件数	金額	件数	金額
平成 25 年度	23 件	110,947	147 件	228,743
平成 26 年度	26 件	124,645	128 件	462,562
平成 27 年度	32 件	108,025	181 件	972,793
平成 28 年度	79 件	354,632	243 件	873,672

- 6) 資金運用は、理事会で承認された「資金運用計画」に基づき、安全且つ有利に運用し、その果実及び差益をもって本学の発展に資することを目的に行っている。「資金運用計画」は、総務局長・財務部長・実務担当者を中心に構成された資金運用委員会にて立案し、学外有識者から聴取した客観的な意見を踏まえ、理事会に上申している。また当該委員会にて資金運用決裁権限基準に基づき仰裁されてきた運用対象商品の可否を検討し、資金運用状況の分析・評価を行なっている。運用対象商品は円建て債券、金銭信託、信託受益権などで、BBB リスク相当以上の格付けを持つ債券等にて運用を行っており、また元本変動リスクのある金融商品及び中長期債券による資金運用については、予め理事長又は理事会の承認を得て実行している。

(資料 9-2-5 順天堂資金運用規程)

(資料 9-2-6 資金運用委員会施行細則)

- 7) 私学事業団のデータベース (2015 (平成 27) 年度決算値) から抽出した他大学 (医歯他複数学部) の財務関係比率 (平均値) と比較すると、本学の比率は概ね上回っており安定的に推移していると言える。特に純資産構成比率及び流動比率の割合が高いことから、財務状況は健全であると言える。また大学キャンパス・ホスピタル再編事業による投資額の増加にも拘らず、2016 (平成 28) 年度の財務関係比率も堅調に推移している。

(※他大学の最新の集計データが 2015 (平成 27) 年度につき、本学も 2015 (平成 27) 年度の財務状況にて比較している。)

(資料 9-2-7 学校法人順天堂 平成 27 年度事業活動収支計算書)

(資料 9-2-8 学校法人順天堂 平成 27 年度貸借対照表)

(資料 9-2-9 学校法人順天堂 平成 27 年度基本金明細表)

(資料 9-2-10 学校法人順天堂 平成 28 年度事業活動収支計算書)

(資料 9-2-11 学校法人順天堂 平成 28 年度貸借対照表)

(資料 9-2-12 学校法人順天堂 平成 28 年度基本金明細表)

(資料 9-2-13 平成 27 年度 事業活動収支計算書-大学法人-)

(資料 9-2-14 平成 27 年度 貸借対照表-大学法人-)

(資料 9-2-15 財務計算書類 (写) 2012 (平成 24) ~ 2016 (平成 28) 年度)

(資料 9-2-16 財産目録)

消費収支計算書関係比率	本学	医歯他複数学部	[ご参考] 全大学法人
該当法人数	1	31	548
学生数	4,246人	383,550人	2,885,071人
人件費比率	35.3%	44.7%	49.9%
教育研究経費比率	53.5%	46.8%	39.0%
事業活動収支差額比率	7.8%	4.0%	4.4%
基本金組入後収支比率	104.9%	106.6%	107.4%

貸借対照表関係比率	本学	医歯他複数学部	[ご参考] 全大学法人
純資産構成比率	83.6%	80.3%	85.5%
流動比率	588.1%	227.0%	248.2%
総負債比率	16.4%	19.7%	14.5%
負債比率	19.6%	24.6%	17.0%
退職給与引当特定資産保有率	32.2%	45.9%	57.5%
基本金比率	99.0%	96.5%	97.0%

(3) 予算編成及び予算執行は適切に行っているか。

【評価の視点】

○予算執行プロセスの明確性・透明性

- ・内部統制等
- ・予算執行に伴う効果を分析・検証する仕組みの設定

- 1) 予算編成は、10月の理事会で定める「10年間の収支見通し」、「予算編成方針」を基本方針として行う。予算申請単位は経理単位毎としており、各経理単位において執行部署から申請された予算を各経理単位の会計課・総務課等で取りまとめ、各学部長や病院長・事務(部)長が収支状況や設備投資計画、特殊要因などを検討して経理単位毎の予算案を作成する。この予算案の申請を受け、法人財務部では予算計上の妥当性や法人の運営方針に沿っているかなどを精査のうえ、法人全体の収支を勘案して予算案を作成する。作成された予算案は評議員会、理事会で審議され決定される。以上のとおり、申請された予算について3段階の検討を経ることで予算編成の適切性を確保している。
- 2) 予算執行にあたっては予算実行権限内規が定められ、支出の種類・金額に応じて最終決定権限者は各経理単位の事務(部)長から理事会まで規定されており、この最終権限者の承認の下執行されるため、執行ルールは明確である。
(資料9-2-17 学校法人順天堂予算実行権限内規)
- 3) 高額な医療機器及び教育・研究用機材等の購入に際しては、価格の妥当性等を検証するため理事長の諮問機関である設備投資委員会に上申することが定められている。各申請部門は、見積合わせを複数社で実施することが求められ、最終価格交渉は当該委員会にて実施している。また経済的効果を検討したうえで導入の可否を決定するなど費用対効果を分析しており、導入後は予算部門ごとに稼働状況(導入3ヶ月後・6ヶ月後・1年後)の検証を行っている。
(資料9-2-18 設備投資委員会運営要領)
- 4) 財産状況、業務執行状況等に関する監査を定期的実施している。本学は首都圏を中心に5

第9章 管理運営・財務 2) 財務

つの学部、6つの附属病院を有しており、そのうち例年複数の拠点を監査対象地区として監事が出向いて監査を行っている。監事2名に、後述の内部監事も同行しており、複数名による監査体制を整備しているため、監査の方法・プロセスの適切性を確保していると言える。会計帳簿の監査をはじめ、管理状況等に関する地区幹部へのヒアリング、意見交換のほか、労務管理、医療安全管理、災害対策等、毎年テーマを決めて実態の把握、問題点の抽出・指導など具体的・実効的な監査を実施している。また、理事会・評議員会に出席し、利益相反の防止や調達過程の健全性維持等に関する各種報告書の検討及び役職員との情報交換を行っている。期中及び決算時期においては監査法人から状況の報告を受け、意見交換を実施している。監事は監査終了後、監査結果に関する報告書を作成し、理事会に提出している。更に学内の内部監査の充実を図るため2015(平成27)年4月より「内部監査の実施に係る取扱要領」が制定され、内部監事による業務及び財務会計に関する内部統制の整備並びに運用状況の検証及び評価を行い、業務執行の効率化・適正化及び会計処理の適正化を図っている。また、前述の監事による地区監査への同行や法人全体に関わる事象についての補足説明等、監事の職務実行のサポートを行っている。

(資料9-2-19 監事の職務執行状況)

(資料9-2-20 監査報告書 2011(平成23)～2016(平成28)年度)

(資料9-2-21 内部監査の実施に係る取扱要領)

2. 点検・評価

[基準9]

大学は、自ら掲げる理念・目的を実現し、大学の機能を円滑かつ十分に発揮するために、大学の運営に関わる方針を明確にし、その方針に沿って明文化された規程に基づき適切な大学運営を行わなければならない。また、教育研究を支援しそれを維持・向上させるために、適切な組織を整備するとともに、絶えず職員の資質向上に取り組まなければならない。さらに、必要かつ十分な財務基盤を確立し、大学運営を適切に行わなければならない。

●基準9-2の充足状況

堅調な基本金組入前当年度収支差額を維持しつつ、有利子負債の返済を前倒しで進め、自己資金の充実を図ってきた。現預金は借入金残高を大幅に上回っており、進行中の大学キャンパス・ホスピタル再編事業は自己資金で実施する予定であることから、財政的基盤は安定していると言える。

①効果があがっている事項

- 1) 本学は、教育・研究・診療の充実を図るため、以下のとおり大きなプロジェクトを実施してきたが、収支等悪化させることなく財務内容も大幅な改善を遂げている。
 - ・2002(平成14)年度 東京江東高齢者医療センター受託運営開始
 - ・2004(平成16)年度 医療短期大学を医療看護学部に改組、浦安病院増床
 - ・2005(平成17)年度 練馬病院開院
 - ・2006(平成18)年度 静岡病院増床
 - ・2007(平成19)年度 大学院医療看護学研究科(修士課程)開設
 - ・2010(平成22)年度 保健看護学部開設

第9章 管理運営・財務 2) 財務

- ・2013(平成 25)年度 大学院医学研究科(修士課程)開設、順天堂医院新病棟(B棟)竣工
- ・2014(平成 26)年度 大学院医療看護学研究科(博士後期課程)開設
- ・2015(平成 27)年度 国際教養学部開設
- ・2016(平成 28)年度 静岡病院・高齢者医療センター増床

なお、2001(平成 13)年度までは負債が自己資金を上回っていたが、2002(平成 14)年度に解消した。金融機関借入金についても1994(平成 6)年度に447億円あったものを、2016(平成 28)年度には0.8億円まで圧縮しており、総負債比率は16.0%となっている。2005(平成 17)年度以降は、100億円規模の高水準の基本金組入前当年度収支差額を維持し、2015(平成 27)年度決算において事業活動収入で事業活動支出を賄うことが出来ない大学が40.8%に上るといった厳しい環境の中、収支状況は極めて良好である。

(資料9-2-22 平成28年度 事業報告書 「20.財務状況の推移」)

(資料9-2-23 月報私学 「平成29年2月号」p.3)

- 2) 競争的資金の導入についてはこれを積極的に推進した結果、文部科学省科学研究費で2016(平成 28)年度に474件(863,070千円)が採択されており、この実績は私立大学の中でも上位に位置している。また、奨学寄付金などの寄付金と受託研究費などの受託事業収入を合わせた金額は2016(平成 28)年度で約35億円に上り、研究推進の一助となっている。

(資料9-2-4 平成28年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(資料9-2-10 学校法人順天堂 平成28年度事業活動収支計算書)

- 3) 格付投資情報センター(R&I)から、2016(平成 28)年9月に、「AA(ダブルAフラット)」の評価をもって格付けが維持された。2007(平成 19)年8月に初めて格付けを取得して以来、継続して「AA」を維持しており、極めて高い格付けを有している。

(資料9-2-24 格付投資情報センター NEWS RELEASE)

3. 将来に向けた発展方策

①効果があがっている事項

- 1) 今後も基本金組入前当年度収支差額を指標とした好調な収支状況を維持するため、適切な予算編成・予算執行を確保し、安定的な財政基盤を更に強化していく。
- 2) 競争的資金の導入についても、URA等の充実・活用により、更に積極的に推進する。
- 3) 格付けに関しては、評価の更なる向上を図るべく財務内容の強化・充実に努める。

第9章 管理運営・財務 2) 財務

4. 根拠資料

根拠資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
資料9-2-1	研戦9-2-1	平成25年度科学研究費助成事業交付決定一覧
資料9-2-2	研戦9-2-2	平成26年度科学研究費助成事業交付決定一覧
資料9-2-3	研戦9-2-3	平成27年度科学研究費助成事業交付決定一覧
資料9-2-4	研戦9-2-4	平成28年度科学研究費助成事業交付決定一覧
資料9-2-5	財務9-2-1	順天堂資金運用規程
資料9-2-6	財務9-2-2	資金運用委員会施行細則
資料9-2-7	財務9-2-3	学校法人順天堂 平成27年度事業活動収支計算書
資料9-2-8	財務9-2-4	学校法人順天堂 平成27年度貸借対照表
資料9-2-9	財務9-2-5	学校法人順天堂 平成27年度基本金明細表
資料9-2-10	財務9-2-6	学校法人順天堂 平成28年度事業活動収支計算書
資料9-2-11	財務9-2-7	学校法人順天堂 平成28年度貸借対照表
資料9-2-12	財務9-2-8	学校法人順天堂 平成28年度基本金明細表
資料9-2-13	財務9-2-9	平成27年度 事業活動収支計算書-大学法人-
資料9-2-14	財務9-2-10	平成27年度 貸借対照表-大学法人-
資料9-2-15	財務9-2-11	財務計算書類(写)2012(平成24)~2016(平成28)年度
資料9-2-16	財務9-2-12	財産目録
資料9-2-17	財務9-2-13	学校法人順天堂予算実行権限内規(既出 資料9-1-5)
資料9-2-18	財務9-2-14	設備投資委員会運営要領
資料9-2-19	財務9-2-15	監事の職務執行状況
資料9-2-20	財務9-2-16	監査報告書 2011(平成23)~2016(平成28)年度
資料9-2-21	財務9-2-17	内部監査の実施に係る取扱要領
資料9-2-22	財務9-2-18	平成28年度 事業報告書(既出 資料2-2、資料4-3-50、資料7-21、資料8-20)
資料9-2-23	財務9-2-19	月報私学 「平成29年2月号」p.3
資料9-2-24	財務9-2-20	格付投資情報センター NEWS RELEASE